

令和4年10月28日
四国電力株式会社

2022年度 連結業績予想について

当社は、ロシアのウクライナ侵攻以降、燃料価格の先行きが不透明な状況が続いている中、今年度の利益水準を見通すことが困難であったことから、連結業績予想を未定としておりましたが、このたび、一定の前提を置いて算定しましたのでお知らせいたします。

なお、今年度の期末配当予想については、今後の燃料価格や為替の動きとその影響等をさらに見極めることとし、引き続き未定といたします。

(2022年度 連結業績予想の概要)

売上高は、燃料費調整額や卸販売収入が増加することなどから、前年度に比べ2,130億円増加の8,550億円と予想しています。

損益については、燃料価格の高騰等に伴い需給関連収支が悪化することなどから、前年度に比べ、営業損益は314億円悪化の△450億円、経常損益は178億円悪化の△300億円、親会社株主に帰属する当期純損益は187億円悪化の△250億円と予想しています。

なお、燃料価格高騰に伴い、燃料費調整額の算定諸元となる平均燃料価格が、燃料費調整の上限価格(=基準燃料価格の1.5倍)を超えていることに伴う通期の料金回収不足額(=当社負担額)は500億円程度と予想しています。

	今回公表		(単位: 億円) (参考) 前年度実績
売上高	(7,150)	8,550	6,419
営業損益	(△750)	△450	△135
経常損益	(△550)	△300	△121
親会社株主に帰属する 当期純損益	(△430)	△250	△62
1株当たり 当期純損益	(△207円)	△121円	△30円

()内は単独値

[参考1] 前提諸元

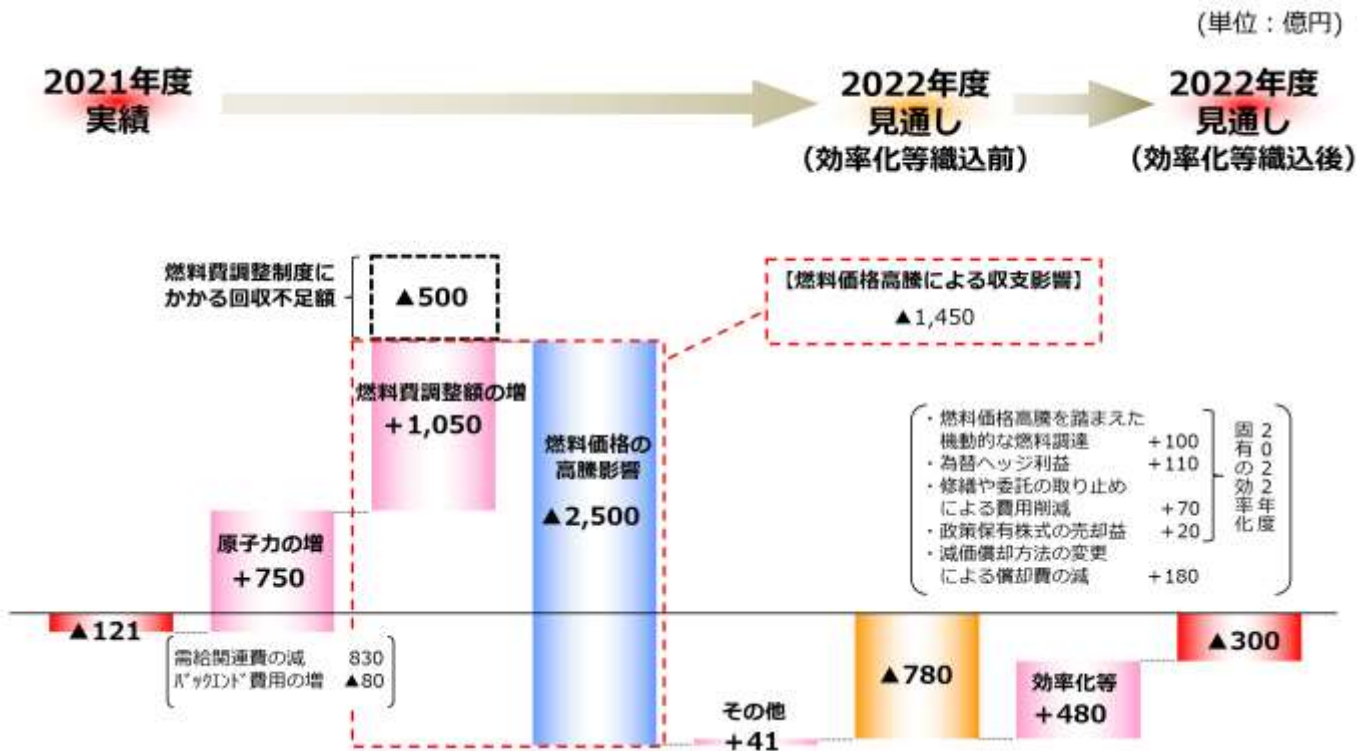
(億 kWh)

	今回公表
小 売 販 売	232.4
卸 販 売	98.9
総販売電力量	331.3

	今回公表
石 炭 C I F (\$/t)	(430) 385
原 油 C I F (\$/b)	(95) 105
為 替 レ ー ト (円/\$)	(145) 139

() 内は下期

[参考2] 2022年度見通しと前年度実績との差異内訳 (連結経常損益)



※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以 上